

## 1 埼玉県北本市

人口 65,817人（小学校7校、中学校4校、児童生徒数 小2,656人、中1,505人、計4,161人）  
☆令和元年度、中学校（生徒数555名）1校で実施。  
☆令和3年度は4中学校へ拡大、市内2か所のスイミングスクールで、2校ずつ委託。

### 契約に関わって（令和元年度）

#### ○日程、時間割

- ・実施時期は5月中旬～2月下旬
- ・スクールが会員を入れていない月曜午前中に行う。
- ・1学年5クラスを、午前中前半3学級、後半2学級に分けて実施。4週続けて行う。

時間	前半グループ	後半グループ
1限目	8:40 学校発、9:00 授業開始	通常授業
2限目	10:00 授業終了、10:30 学校着	9:50 学校発、10:10 授業開始
3限目	通常授業	11:10 終了、11:40 学校着
4限目	通常授業	通常授業

※体育2時間でカウント

#### ○移動方法

- ・スイミングスクール保有のバス（10分弱）。

#### ○予算

約280万円（1校）

※バス使用料含む

### 指導に関わって

#### ○人員

- ・教員3名、インストラクター4～5名（プールサイドからの監視員含む）。
- ・技術指導はインストラクターが行う。
- ・習熟度別にクラス分けをする。

#### ○教師の役割

- ・引率、プールサイドより評価、監視。
- ・評価方法は、観察による評価と、インストラクターとの情報共有による評価。
- ・授業前後や休憩時間にインストラクターで打ち合わせを行う。

## 成果と課題

### ○成果

- ・多くの指導者が対応できるので、一人ひとりの泳力や興味関心などに則した指導が行えた。また、指導の専門性を生かし水泳の楽しさを十分に味わわせることができた。
- ・泳力の向上 初級（25m未満）に所属した生徒67人中、44人が25m以上泳げるようになった。
- ・監視の目が増えること、衛生環境の向上で、より安全に実施することができた。
- ・施設の維持・管理費が削減できた。
- ・天候に左右されず、計画通りに授業が実施できた。
- ・維持管理に係る教員の負担を軽減できた。

### ▲課題

- ・学校の時間割や行事等の調整。
- ・前後半の入れ替え時の送迎バス引率教員の確保。
- ・教員とインストラクターとの打ち合わせ時間の確保。

## 生徒、保護者、教師の声

### ○生徒

元年度に実施した1校の2年生（186人）へ、4段階評価のアンケートをとった。そのうち、「そう思う」「どちらかというと思う」と回答した生徒の割合は、

1, 楽しかった	99.4%
2, 積極的にできた	100%
3, 練習時間が十分とれた	93.4%
4, 泳ぎのポイントがわかった	99.4%
5, 泳力の伸びを感じた	96.2%
6, これからも受けたい	100%

### ○保護者

好意的であり、クレームや批判的意見はなかった。

### ○教師

- ・計画的に実行できる。
  - ・泳力向上につながった。
  - ・習熟度別に充実した指導を行える。
  - ・安全面で効果的。
  - ・維持管理は不要となり負担軽減につながる。
- などの声が上がった。

## 2 三重県松阪市

人口 161,070 人（小学校 36 校、中学校 11 校、児童生徒数 小 8,181 人、中 3,791 人、計 11,972 人）  
☆平成 30 年度、小学校 1 校（児童数 182 名）で実施。  
☆市内のスイミングスクールへ委託。

### 契約に関わって

#### ○日程、時間割

- ・実施時期は 6 月～7 月上旬。
- ・子ども用プールを貸し切り（一般用との交差なし）。
- ・低・中・高別に曜日を固定。一回 2 時間を 5 回行う（最終回は着衣水泳）。

時間	内容
1 限目	通常授業
2 限目	9:35 学校出発 9:45 到着、着替え 水泳授業実施（指導時間 60 分）
3 限目	11:00 頃 終了、着替え 11:20 バス出発 11:30 学校到着
4 限目	通常授業

※体育 2 時間でカウント

#### ○移動方法

- ・スイミングスクール保有のバス 3 台。

#### ○利用料（令和 3 年度）

単価契約で、一回 1,200 円 × 170 人 × 5 回 = 102 万円

※平成 30 年度は一回 936 円

### 指導に関わって

#### ○人員

- ・技術指導はインストラクター中心となって行う。
- ・泳力別に 7 段階のグループに分けて指導。
- ・インストラクター以外の監視員が 2 名常駐。

#### ○教師の役割

- ・水着を着用し、児童の支援や、技能以外の評価を行う。
- ・インストラクターの指導を学ぶ。
- ・評価方法は、インストラクターから技能の状況を聴取して評価。個人の泳力カルテを作成する。

## 成果と課題

### ○成果

- ・泳力カルテを作成することで、伸びの把握がしやすい。
- ・少ない授業回数の中で、キックが修正され、技術の向上が見られた。

### ▲課題

- ・教員の関わり方について
- ・途中でもインストラクターとの打合せが必要だと思う。
- ・グループ分けについて

## 児童、保護者、教師の声

### ○児童

- ・体操室が広くてよい。
- ・スイミングスクールの先生の教え方がうまい。
- ・シャワーが温かい。
- ・クロールを一から覚えられてよかった。
- ・クロールができるまで教えてくれた。
- ・休むときに暑い外でなくてよかった。

### ○保護者 回答率65%のうち、今後も継続に賛成100%

- ・専門のインストラクターによる指導がよい。
- ・保護者も見学ができて安心。
- ・衛生面・安全面で安心。
- ・決まった曜日で準備がしやすい。
- ・技術が向上した。

### ○教師

- ・施設がきれいでとてもよい。
- ・インストラクターによるきめ細かい指導、規律、褒め方など配慮が行き届いていた。
- ・インストラクターが、グループ全体や特別支援籍児童の一人についてみてもらって安心できた。
- ・インストラクターが、子どもの様子に応じて指導されていて良かった。
- ・人数が少ないことで、子どもたちもインストラクターに質問しやすい。
- ・低学年は、保護者にも聞いてグループに分けるのがよい。
- ・教師が子どもたち一人ひとりの様子を見ることができた。
- ・計画をたてやすい。
- ・着替えが遅いと、次の授業に影響を与えてしまう。
- ・子どもや保護者から、「もっとしたい」と要望があったが、良かったと思う。
- ・インストラクターの指導を近くで見て、大変勉強になった。

### 3 千葉県佐倉市

人口 173,216 人（小学校 23 校、中学校 11 校、児童生徒数 小 8,075 人、中 4,179 人、計 12,254 人）  
☆平成 25 年度から小学校 1 校（児童数約 670 名）、26 年度からさらに小学校（児童数約 900 名）1 校で追加で実施。  
☆市内のスイミングスクールへ委託。

#### 契約に関わって

##### ○日程、時間割

- ・実施時期は 5 月～10 月
- ・一回 70 分程度を各学年 4 回行う（1, 3, 5 年は着衣水泳 1 回を含む）。貸し切り。

時間	前半グループ	後半グループ
1 限目	8:20 学校出発 8:30 到着、着替え 8:50 指導開始	授業 (水着を下に着ておく)
2 限目	10:00 終了、着替え 10:20 プール出発 10:30 学校到着	9:30 学校出発 9:40 到着、着替え 10:10 指導開始
3 限目	授業	11:20 終了、着替え 11:40 プール出発
4 限目	授業	11:50 学校到着 授業

※体育 2 時間でカウント。

##### ○移動方法

- ・スイミングスクール保有のバス

##### ○経費

2 校で約 9,000,000（平成 26～28 年）…一人約 5,600 円

2 校で約 9,190,000（平成 29 年）…一人約 5,900 円

#### 指導に関わって

##### ○人員

- ・4～5 グループに分け、各グループにインストラクターを 1 名配置。泳力別に指導。
- ・監視員が 1 名常駐。

##### ○教師の役割

- ・インストラクターと共に水泳指導。

## 成果と課題

### ○成果

- ・多くの指導者が対応できるので、一人ひとりの泳力や興味関心などに則した指導が行えた。また、指導の専門性を生かし水泳の楽しさを十分に味わわせることができた。
- ・監視の目が増えること、衛生環境の向上で、より安全に実施することができた。
- ・施設の維持・管理費が削減できた。
- ・天候に左右されず、計画通りに授業が実施できた。

### ▲課題

- ・泳力別のグループ学習に対応した評価方法の確立
- ・教員とインストラクターとの打ち合わせ時間の確保。

## 児童、教師の声

### ○児童

平成25年度 対象校1校 1～6年の全児童へのアンケート

- |               |     |
|---------------|-----|
| 1, バスで困った     | 6%  |
| 2, 楽しかった      | 98% |
| 3, 泳ぎが上手になった  | 85% |
| 4, スクール利用で困った | 4%  |

平成26年度 対象校1校 1～6年の全児童へのアンケート

- |                   |                      |
|-------------------|----------------------|
| 1, 学校での授業と比べてよかった | 97%                  |
| 2, 楽しかった          | 98%                  |
| 3, 上達した           | 80%                  |
| 4, 一番良かったこと       | 天気41%, コーチ36%, 設備21% |

### ○教師

- ・施設設備、インストラクターの対応、バスの安全管理面がよかった。
- ・泳力向上・意欲向上につながった。

今後に向けて（平成31年度 佐倉市学校プール・市民プール再編に向けた調査業務委託 報告書）

○先行2校はそのままスクール契約

○残りの小21校、中11校の移動時間等の検証（済）

→屋内プールを持つ中1校と市民プール2つを屋内温水プールに改築し、全小中学校の委託可能

○跡地利用（駐車場・備蓄倉庫・広場・学童・スポーツコートなど）

R3年度現在

先行2校の契約のみ。学校のプールを修理しながら授業をしている。

## 4 愛知県蒲郡市

人口 79,186 人（小学校 13 校、中学校 7 校、児童生徒数 小 3,873 人、中 2,100 人、計 5,973 人）

☆令和元年度、中学校（生徒数 493 名）1 校を市内のスイミングスクールに委託。

☆令和 3 年度は中学校に加え、別のスイミングスクールに小学校（児童数 443 名）1 校を委託。

### 契約に関わって

#### ○日程、時間割

- ・実施時期は 6 月中旬～9 月下旬。（時期を 3 つに分け、小学校は低中高別、中学校は学年別に割り当て）
- ・特定曜日の午前中を貸し切って行う。
- ・小学校は学年ごと、中学校は 2 クラスずつ実施し、1 グループにつき 2 時間×4 回、計 8 時間実施。
- ・時間割

時間	内容
1 限目	授業
2 限目	9:45 学校出発 10:00 指導開始
3 限目	11:20 終了 11:30 スイミングスクール出発 11:45 学校到着
4 限目	授業

※体育 2 時間でカウント

#### ○移動方法

徒歩（中学校）2～3 分

スイミングスクールのバス（小学校）10 分

#### ○予算（令和元年度）

400 万円 ※バス使用料含む

### 指導に関わって

#### ○人員

教師の立てた指導計画に則って、技術指導を行う。

インストラクター 2 人（以上）、監視スタッフ 2 人（以上）。

監視スタッフは心肺蘇生法の有資格者、また、施設には AED 設置。

#### ○教師の役割

TI として授業カリキュラムを作成、指導、評価を行う。

## 成果と課題

### ○成果

- ・専門的な指導により、泳力が向上した。教師の指導力の向上にもつながった。
- ・プール管理の教師負担が減った。
- ・天候による影響を受けず、計画通りに実施できた。

### ▲課題

- ・インストラクターとの打ち合わせ時間の確保。
- ・特定の時間を貸し切りにしたことで、市民からの苦情が複数あった。

## 児童・生徒、保護者、教師の声

### ○児童・生徒、保護者

- ・先生が多く、やりたい泳ぎをしっかりと練習できた。
- ・苦手なクロールの息継ぎが上達した。
- ・教え方が丁寧で上達できた。
- ・雨でも入れてよかった。
- ・天候に関係なく、安定明日環境で実施できる。
- ・スタッフが多く、安全面で安心できる。
- ・アンケート 民間施設での授業「よかった」「事業を続けたい」9割以上

### ○教師

- ・学校のプール指導では、教員1人が指導し、1人が監視するのが精いっぱいだった。この手厚い体制は本当にありがたい。
- ・学校外の大人と接することは、生徒の成長にもプラスになっている。

### その他

- ・中学校を受けているスポーツクラブは、時期をずらせば最大7校は受け入れ可能としている。